

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

北海道北斗市清水川142番地12

株式会社函館なとり

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	525,941	流動負債	387,479
現金及び預金	362,642	短期借入金	10,000
売掛金	147,506	リース債務	134,227
貯蔵品	2,010	未払金	80,721
前払費用	7,547	未払費用	25,073
未収入金	6,234	未払法人税等	37,317
		未払消費税等	73,927
固定資産	1,134,793	預り金	3,215
(有形固定資産)	1,133,095	賞与引当金	22,997
建物	406,054		
構築物	1,804	固定負債	344,628
機械及び装置	24,113	リース債務	312,936
車両運搬具	129	退職給付引当金	30,566
工具、器具及び備品	5,349	資産除去債務	1,125
土地	248,480		
リース資産	447,164	負債合計	732,108
(無形固定資産)	594	(純資産の部)	
電話加入権	594	株主資本	928,627
(投資その他の資産)	1,103	資本金	10,000
出資金	20	利益剰余金	918,627
長期前払費用	974	利益準備金	2,500
敷金及び保証金	109	その他利益剰余金	916,127
		繰越利益剰余金	916,127
		(うち当期純利益)	135,310
		純資産合計	928,627
資産合計	1,660,735	負債純資産合計	1,660,735

※第28期

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項はありません。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……………最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）……………定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

② リース資産……………リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金……………従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当事業年度に見合う分を計上しております。

② 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

a. 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

b. 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の定数（10年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	2,321,561 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	153,554 千円
短期金銭債務	5,130 千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

 営業取引による取引高

 売上高

1,404,439 千円

 経営指導料

7,464 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

該当事項はありません。

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	4,643,137 円 51 銭
(2) 1株当たり当期純利益	676,553 円 28 銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

当期純利益	135,310 千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純利益	135,310 千円
普通株式の期中平均株式数	200 株

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。